

博物館教育論

(解答はすべて解答用紙に記入し、この問題用紙に記入しないこと。)

1. 次の文化庁の博物館総合サイトで説明している「博物館について⑥博物館の活動の広がり(校外学習、生涯学習、地域活動)」について、①～⑩の()に、下の□の中から当てはまる語句を選び、文を完成させ、解答欄にはその記号を記入しなさい。(各 1 点)

博物館は、地域に暮らす人々の学習や楽しみ場としても重要です。古文書講座や(①)、天文教室、生き物との触れ合い学習など、博物館の特色を生かした市民の(②)を支援する取組みが行われています。博物館は、こどもから大人まで多様な世代の人々が利用できる場です。

昭和時代の(③)を利用して高齢の人が当時を思い出すことで老化を防ぐ(④)やそうした場で、高齢の方とこども、孫の世代が共に語り合う(⑤)としても有効で、地域の人々が集まり交流する場として活用する取組みが進みつつあります。

今までもよく行われてきた学校教育との(⑥)も、団体での施設見学だけでなく少人数での(⑦)や博物館が学校に出向いての出前授業など、学校での学習指導要領と連動した取組みも進んでいます。

また、近年では市民と連携した活動を通じて博物館や(⑧)の価値を高めていく価値共創の視点も大切になってきています。市民との(⑨)によって博物館の活動を広げていくとともに市民の創造的な活動を促進することで新たな価値の創出やイノベーションを生み出すことが期待されています。

さまざまな障がいを持つ人が博物館を自由に利用できる環境を作ることも重要です。博物館に集められた貴重な資料や情報を、すべての人が利用できるようにする努力が進められています。博物館にある地域の(⑩)は、その価値をしっかりと発信することで人々の地域への誇りや愛着を深めるだけでなく、その土地や地方の魅力を外に発信し、観光で訪れる人々にも感動を与え、地域の経済や振興に役立つ取組みが進められています。

ア. 協働	イ. 博物館資料	ウ. 連携	エ. 生涯学習	オ. 多世代交流
カ. 財産	キ. 回想法	ク. 自然観察	ケ. グループ学習	コ. 生活資料

2. 次の説明に該当する用語について記号を1つ選びなさい。(各2点)

- (1) エコミュージアムは、1960年代の()で、人間と環境との関わりを扱う博物館として創案された。

ア イギリス イ カナダ ウ フランス エ スウェーデン

- (2) 小学校学習指導要領(理科)において、連携や協力を図りながら、積極的に活用をすることをすすめている施設は、博物館、科学学習センター、植物園、動物園、水族館、()などである。

ア 公民館 イ プラネタリウム ウ 図書館 エ 研究所

- (3) 文化庁「博物館総合サイト」では、博物館での調査研究の成果として、講演会や出版物、展示室でのギャラリートーク、展示解説、体験型のワークショップや講習会など、様々な形で発信される()活動は、教育普及事業と説明している。

ア 広報宣伝 イ 資料公開 ウ 地域振興 エ 情報発信

- (4) 新しい時代の博物館制度の在り方(平成19年)では、学芸員に求められる専門性の1つとして、高い()を有し、教育活動等を展開できる能力をあげている。

ア 研究能力 イ コミュニケーション能力 ウ 実践技術力 エ 運営管理能力

- (5) 子どもたちにモノに触れて学ぶハンズオン展示を中心とした「チルドレンズ・ミュージアム」を1899年に世界で最初に開館した国は()である。

ア アメリカ イ イギリス ウ フランス エ ドイツ

3. 博物館教育について記述した（A）～（E）の文章を読み、間違っている記号1つを選びなさい。（各2点）

（A）デジタルアーカイブ

ア 2022年には博物館法が改正されて、博物館の事業に“博物館資料のデジタルアーカイブ化”が追加された。

イ 博物館資料をデジタルアーカイブ化し、インターネット等を通じて公開することは、多様な創造的活動への博物館資料の活用の促進を可能にする。

ウ 博物館が持つ資源をより効果的に「分かち合う」ことを可能にするプラットフォームとして、文化庁は、日本遺産認定事業を展開している。

エ 博物館資料のデジタルアーカイブ化は、現物資料の保存を代替するものではなく、資料のアーカイブ化をもって現物資料を処分することは不適當である。

（B）改正博物館法と博物館事業

ア 改正博物館法では、博物館は、他の博物館等との連携、地域の多様な主体との連携・協力による文化観光その他の活動を図り、地域の活力の向上に取り組むことを努力義務とすることが明記された。

イ 文化観光推進法は、文化の振興を観光の振興と地域の活性化につなげ、これによる経済効果が文化の振興に再投資される好循環を創出することを目的とするものである。非営利団体でなければならない博物館は、文化観光により成果をあげたプログラムから得られる資金を吸収する受益者で、当事者として活動することが禁止されている。

ウ 改正博物館法の「地域における教育、学術及び文化の振興、文化観光その他の活動の推進を図り、もって地域の活力の向上に寄与するよう努めるものとする」と規定するうちの「その他の活動」には、まちづくり、福祉分野における取組、地元の産業の振興、国際交流等の多様な活動が含まれる。

エ 「地域の活力の向上」には、地域のまちづくりや産業の活性化に加え、コミュニティの衰退や孤立化等の社会包摂に係る課題、人口減少・過疎化・高齢化、環境問題等の地域が抱える様々な課題を解決することが含まれる。

（C）利用者評価とコンテンツマーケティング

ア 「事業者が伝えたい情報」ではなく「利用者が知りたいと思っている情報」から逆算して、オリジナルのコンテンツを制作、配信するアプローチをコンテンツマーケティングという。コンテンツマーケティングを成功するためには、訴求力があるメディアを活用するために初期投資が必要になる。

イ コンテンツマーケティングを展開することで、顧客が本当に知りたい情報を提供し、納得感を持ってもらった上で購買に繋げることが可能になる。また、モノ・サービスのブランド力を高めることができるようになるため、継続購入と利用を促すことが可能になる。

ウ コンテンツマーケティングによりオリジナルコンテンツを開発することで、コンテンツの再利用が可能になり、顧客アプローチのための資産として活用できる。また、関連するコンテンツの網羅性を高めることができるため、顧客のニーズを深掘りした横展開が可能になる。

エ コンテンツマーケティングで成果をあげるためには、良質なコンテンツを作成するだけでなく、作成したコンテンツをより多くの人に届けるための手段をセットで考えておく必要がある。そのためには、ブランディングやファン獲得を行うと同時に、定期的に Web サイトや SNS を更新するなど、コンテンツを継続的に発信し続ける体制を準備しておく必要がある。

(D) 学習デザイン

ア 自分が直接体験した事柄ではなくても、他者の体験を観察・模倣すること（＝モデリング）で学習できることを明らかにした理論を「社会的学習理論（モデリング理論）」という。

イ 「モデリング理論」は、学習者が直接体験したことだけではなく、他者の行動を観察し、模範することで学習が可能であるという立場に立つことで、疑似体験により一人ひとりの成長を促す学びを可能にした。

ウ 私たち人間にはある日突然ひらめいて答えが浮かぶ現象がある。人間の認知構造が突然変化する現象から知識の再構築をこころみる学びを洞察学習という。

エ 洞察学習を成功させるためには、その人の立場で考え、物事の表面にあらわれる特徴や変化を読みとる能力、すなわち「観察力」をきたえあげておく必要がある。

(E) 学びの形式

ア 図書館で本を借り、読み、講座を受講する。食べる、装う、しつらえるなど暮らしをもっと良くしようとする学びやボランティア活動をするための学びは、組織的、体系的ではなく、習俗的で無意図的な学びであり、インフォーマル教育という。リスキング、リカレント教育はこれに該当する。

イ 厚生労働省は「ボランティアポイント制度」の導入を推進している。ボランティア活動をするための基本スキルの学びやボランティア活動の実践を記録し、ポイントに換算し、社会サービスと交換する取組など「学び」を見える化する動きがスタートしている。

ウ 高度に制度化され、年齢によって構造化され、階層的に構成された小学校から大学に至るまでの教育をフォーマル教育といい、学校における教育を指す。

エ 学校教育の枠組みの外で、特定の集団に対して一定の様式の学習を用意する組織化、体系化された教育活動をノンフォーマル教育、学校外教育という。ビジネススクール、語学スクールなどのスキルアップ教育はこれに該当する。

4. 次の（１）～（５）の文章について、内容が正しいものには○、正しくないものには×を解答欄に記入しなさい。（各２点）

（１）世界遺産の東寺でブレイクダンス大会を開催するなど、地域の風土や文化を体感できる施設や空間として本来の業務とは異なるニーズに応じて特別に貸し出される場所を「ユニークベニュー」という。

（２）地域社会には歴史・文化、芸術、科学技術など多様な地域文化資源が存在する。これらを多様な視点から結びつけ、物語化するためには、「編集力」が求められる。「編集力」をみがきあげるために設定された科目は、「博物館資料保存論」である。

（３）1753年、医師であり科学者であるハンス・スローン卿のコレクションをもとに設立された大英博物館は、いくつかの分館を設立している。最初の分館は1881年に設立された大英自然史博物館である。

（４）博物館が利用者と接し、教育サービスプログラムを展開する場をフロントヤードサービスという。フロントヤードサービスには、展示、ワークショップなどの教育普及活動に加え、それを展開する人材養成なども含まれる。

（５）顧客生涯価値とは、ある顧客が自社の利用を開始してから終了するまでの期間に、自社が顧客からどれだけの利益を得ることができるのかを表す指標である。博物館で生涯価値を高めるためには、学びの履歴を記録し、利用者の博物館活動を促す継続的な教育プログラムの開発が必要になる。

5. 改正博物館法第3条において、博物館の事業に博物館資料のデジタルアーカイブ化が追加されたが、学校教育において博物館のデジタル資料を教材として活用する場合に広がる学習の可能性と生じる課題について論じ、その可能性と課題に対応する学習方法について、自分の考えを400字以内で述べなさい。(30点)

6. 次の文章は、寺田寅彦による『歳時記新註』より抜粋したものである。この文章を読み、設問(1)(2)に解答しなさい。(30点)

秋分

昨日まで北半球の上に照っていた太陽がまさに南半球へ越えんとして丁度赤道の真上に来る日である。この日我が皇室では皇霊祭を行わせられる。仏教では彼岸の中日時正の日で、一切の諸仏三世の諸尊および無数万億菩薩説法して衆生に楽しみを与うというので春分の時と同様阿弥陀詣などをする。

昔エジプトの天文学者は地上に環を立てて北極星に面せしめて置き、環の影が丁度一直線になる日を見て春分秋分を定め、これを基として暦を定めたという事で、その時の環が今日でもアレキサンドリアの博物館に保存してある。

この日は昼夜長短相同じでこれからだんだん夜長になる。ずっと昔十二宮を定めた頃には秋分の日地球から太陽を望むとほぼ天秤星座に当たったので秋分をもって太陽天秤宮に入ると云っていたが、今から二千年前ギリシアのヒッパークスは昼夜平分の日に太陽が天球の上に見える位置すなわち秋分点は少しずつ西の方へ変って行くという事を発見した。

今日では秋分の太陽は処女宮の西のはずれに近い処まで動いて来た、従ってもとは同名の星座に配してあった十二宮は同名の星座と合わなくなって来たのである。秋分点あるいは春分点が天を一廻りして旧位に帰るまでには二万五、六千年の星霜を経ねばならぬ。

今から一万二、三千年の子孫の世には北極はとんでもない天の河のはずれを向いて、七夕の星が春見えるような事になる。こんな変化の起る訳は地球の自転の軸が独楽の軸と同じように徐々に味噌摺り運動をやるためである。
(明治四十一年九月二十六日『東京朝日新聞』)

(1) 日本の伝統文化や美意識は、四季を通じて移り変わる自然によって育まれてきた。太陽の運行は生活の区切となり、生活文化と深く結びついている。『歳時記新註』を参考に、秋分をテーマにした教育プログラムのタイトルを作成しなさい。(5点)

(2) (1)で解答したタイトルで、利用者の興味関心を育み、秋分と生活を結びつける解説記事の導入を400字程度で作成しなさい。(25点)